



上高田小だより

平成29年度	5月号
発行	平成29年 5月 1日
中野区立上高田小学校	校長 小池隆一
児童数	179名
卒業生総数	14,389名

一日を楽しくするために

副校長 幅 健 司

○「学校のルールを見直す週間」のスタート

若葉が勢いを増し、日に日に緑が深まるよき季節となりました。上高田小の子どもたちも若葉の勢いに負けじと、新しい学年でがんばっています。

新年度が明けてから早1か月。新しい学年にも慣れつつあるところですが、ここで、「学校のルールを見直す週間」とし、ゴールデンウィーク明けから「上高田スタンダード」に基づいて学校生活の在り方の改善を図ってまいります。

○安全な生活とよりよい人間関係で毎日を楽しむ

ルールを守って生活することは、安全を確保するためでもあります。同時に他の人とよりよい人間関係を築くためのものでもあります。毎日人と関わり合いながら生活している中であって、安全とともに、よりよい人間関係を築いていくことが楽しい一日へとつながっていきます。今日一日が楽しかったかどうか、それは、安全であるとともに、今日一日、人とどう関わったかによるところが大きいのではないのでしょうか。今一度、ルールを守って生活することが、そのまま楽しい一日へとつながっていくことを子どもたちと確認したいと思います。

○声を出すことの大切さを実感できるように

また、特にあいさつにつきましては、年度当初から重きを置いて取り組んできましたが、上高田小の子どもたち全員が元気な挨拶ができるよう、引き続いて取り組んでいきたいと考えております。あいさつのみならず、声を出すこと、中でも肯定的な言葉やほめ言葉、励ましの言葉を発し、交わすことが心身ともに健康であるために重要であるともいわれています。あいさつすることが習慣になるには、あいさつすることの意味を知り、その心地よさを実感することが大切です。心身ともに健康で、よりよい人間関係を築き、一日を楽しくするためにも元気なあいさつが欠かせないことを伝えていきたいと考えています。

○子ども一人育てるのには、一つの村が必要である

先月の学校便り、学校説明会でも学校長よりお伝えいたしました。昨年度に引き続き、「学校は、地域とともに、子どものためにある」との方針を掲げ、教育活動を進めてまいります。アフリカのことわざ「子どもを一人育てるには、一つの村が必要である」とあるそうです。確かに、一人の子どもがまたその次の子どもを育てられるように成長するには、家庭だけでも学校だけでなく、地域コミュニティーそのものが必要といえます。保護者・地域の皆様とともに子どもたちの健全育成に努めてまいりますので、何卒、よろしく願いいたします。

※ 学校再編計画における通学区域の変更につきまして、本日付で中野区教育委員会からのお便りを配布しておりますのでご覧下さい。